

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

0120-20-8822 ※ 携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99285303 507 G

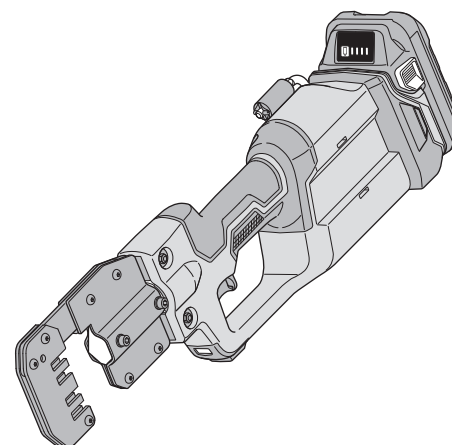
HIKOKI

取扱説明書

コードレス M バーカッタ

18 V CE 18DYMA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みにになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
用途	10
標準付属品	10
仕様	11

使い方

蓄電池の取付け・取りはずし	12
電池残量表示について	12
スイッチの操作	13
フックの使い方	14
ヘッドの回転	14
LED ライトについて	15
LED ライトの警告シグナル	15
1 充電当たりの作業量	16
本製品の特性について	16
ブレードの交換	17
チェンジプレートの取付け	18
切断する	19

その他

保守・点検	21
故障診断	24
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で
使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や
夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⚠注意

- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になる必要があります。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス Mバーカッタについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確認してください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 作業時は、適切な保護具（保護メガネ、保護手袋、ヘルメット等）を着用してください。また、鋼板くずから足を守る厚底の靴を履いて作業してください。
- ③ ブレードを開く前に、ブレードとRプレート間に異物がないことを確認してください。
ブレードが開く際は、トリガをはなしても停止しません。
- ④ 切断前に切り落とし、または際切り側を確認してください。
間違えると、切断した材料が落下する可能性があります。
- ⑤ 切り落とし側が長尺の場合、材料を支えてください。
切り落とし材を保持できない可能性があります。
- ⑥ 切断前後に、機体を被切断材にぶら下げた状態で放置しないでください。
機体が落下する可能性があります。
- ⑦ 使用中は、機体をしっかりと保持してください。
- ⑧ ブレードの近くに指がくるような短い材料は、切断しないでください。
誤って指を切断する恐れがあります。
- ⑨ 被切断材の切り口は、鋭利になっているので触れないでください。
- ⑩ 使用中は、ブレード付近や切りくずなどに手や顔を近づけないでください。
- ⑪ 使用中は金属部が熱くなるので、ハンドルを持ってください。
- ⑫ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑬ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やブレードなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑭ 思わぬ事故や刃の損傷を防止するため、本製品を使用しないときや保管時はブレードを開いた状態にしてください。

⚠警告

- ⑮ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑯ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 切断直後の切りくずは高温になっているので、触れないでください。
- ③ 機体を切りくずの上に置かないでください。
機体の中に切りくずが入ると、故障や事故の原因になります。
- ④ スイッチを入れたまま、台や床などに置かないでください。
機体を置くときは、スイッチを切って、モーターを停止させてから置いてください。
モーターを回転させたまま置くと、機体が移動したり、異物を吸い込むなど事故の原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確認してください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 機体で材料をたたき、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑦ LED ライトの光を目に当てないでください。
- ⑧ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑨ 蓄電池は確実に取付けてください。

⚠警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、ブレードの交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠ 警告

- ⑨ 蓄電池にアルカリ系の潤滑剤や切削液が付着した場合は、速やかに乾いた布でふき取ってください。
ケースの破損や劣化の原因になります。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手が届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

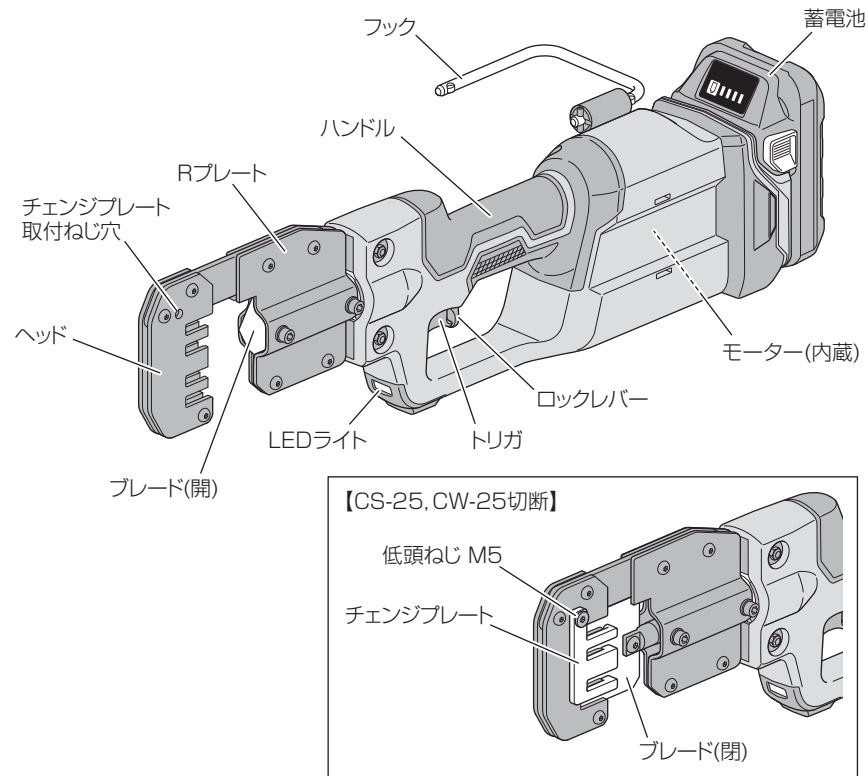


○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

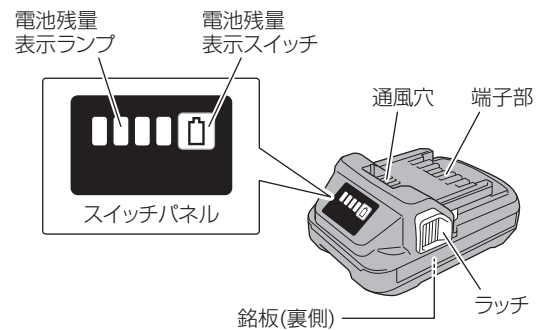
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称

工具本体



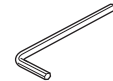
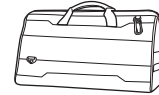
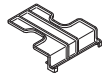
蓄電池



用途

●天井下地材 (シングル野縁:CS-19/25, ダブル野縁: CW-19/25) の切断

標準付属品

品 名	仕 様	BH	NN
蓄電池 BSL 1820M 〔本体装着〕		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を 確認してください。		1 台	—
ブレード 〔本体装着〕		1 個	1 個
チェンジプレート		1 個	1 個
低頭ねじ M5		1 個	1 個
六角棒スパナ (3 mm)		1 個	1 個
ツールバッグ		1 個	—
電池カバー		1 個	—

仕 様

1. 工具本体

形 名	CE 18DYMA
切 断 能 力 (適 用 材 料)	CW-19 (19 × 50 mm), CS-19 (19 × 25 mm), CW-25 (25 × 50 mm), CS-25 (25 × 25 mm)
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター
使 用 可 能 蓄 電 池	リチウムイオン電池 ●マルチボルトタイプ蓄電池 ●18 V (BSL18**シリーズ)
工 具 本 体 寸 法 (全長 × 全幅 × 全高)	491 × 88 × 138 mm [BSL 1820M 装着時]
質 量	2.5 kg [BSL 1820M 装着時]

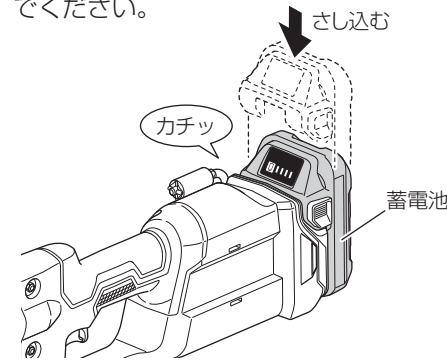
2. 蓄電池

形 名	BSL 1820M
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 圧	18 V
容 量	2.0 Ah
冷 却	対応
使 用 可 能 コ ー ド レ ス 製 品	18 V スライド式リチウムイオン電池対応製品
使 用 可 能 充 電 器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36***、UC 18***シリーズ
残 量 表 示 ラ ン プ	緑色 LED

蓄電池の取付け・取りはずし

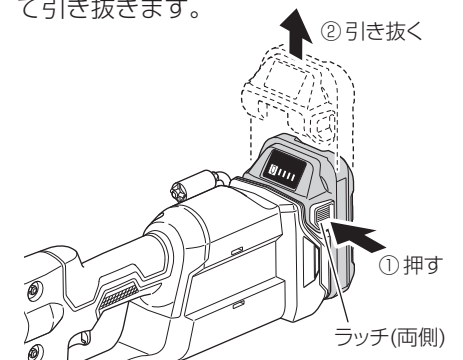
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

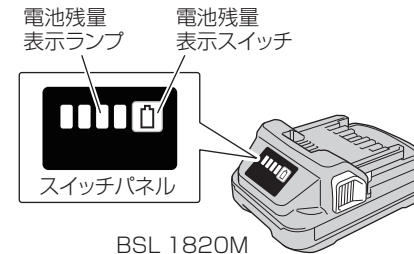
両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



電池残量表示

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



BSL 1820M

注 残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。

ランプの点灯状態	電 池 残 量
	75% 以上
	50% ~ 75% 未満
	25% ~ 50% 未満
	25% 未満
	0%
	点滅
	高温のため出力停止 ^{※1}
	故障のため出力停止 ^{※2}

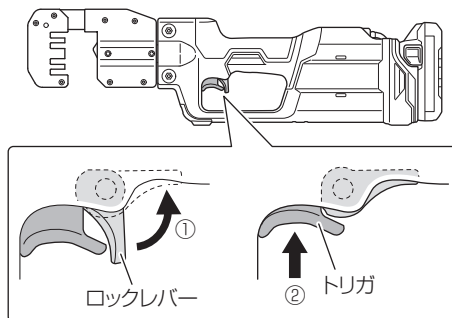
※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

スイッチの操作

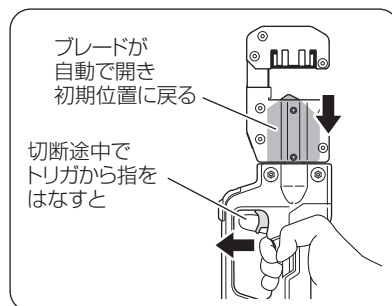
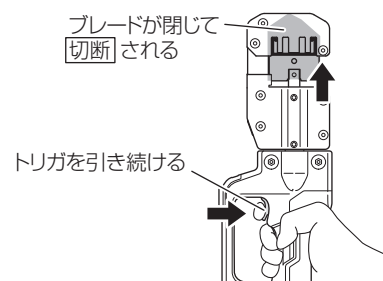
この製品には通常のトリガに加え、安全装置としてロックレバーが装備されています。ロックレバーを引いてからトリガを引くことで作動します。

①の方向に引いてから、②の方向に引きます。



切 断 時

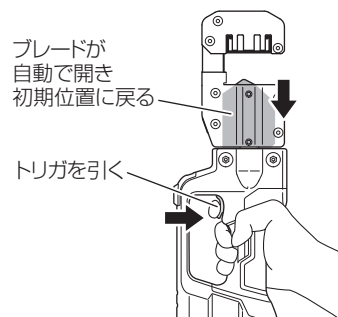
トリガを引き続けることで、ブレードが閉じます。ブレードが閉じている最中にトリガをはなすと、ブレードが自動で開き、初期位置まで戻ります。



切 断 後

一度トリガを引くと自動でブレードが開き、初期位置まで戻ります。

注 ブレードが開いている最中は、トリガをはなしても停止しません。



フックの使い方

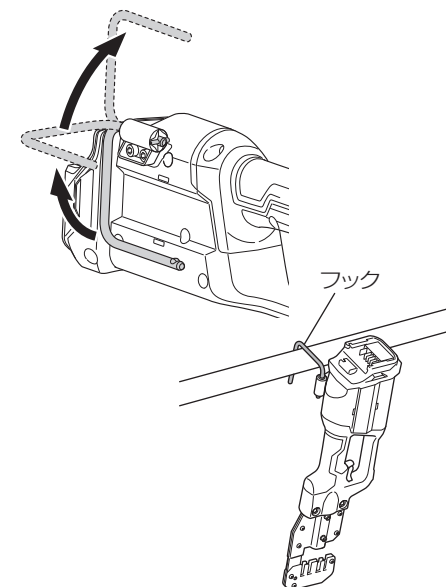
⚠ 警告

機体の落下による事故を未然に防ぐため、以下の事項を守ってください。

- 先端工具や蓄電池などを機体から取りはずす。
- ベルトやズボンなど人体へつり下げない。
- 高所ではフックを使用しない。
- 単管パイプなどに掛けるときは、機体が滑り落ちたり、風などで不安定にならないことを確認する。

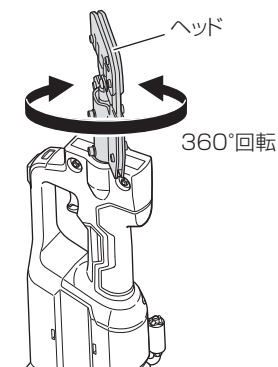
作業中に機体を一時的に置くとき、フックを利用すると便利です。

フックを矢印方向に開いて使用します。使用しないときは、機体側に収納して、作業の妨げにならないようにしてください。



ヘッドの回転

ヘッドは、360°回転します。作業しやすい角度に調節してください。

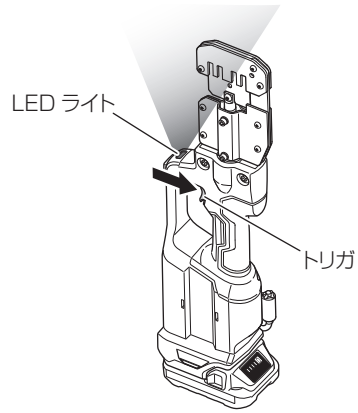


LED ライトについて

トリガを引いている間、LEDライトが点灯します。

トリガから指をはなして、約 15 秒後に
消灯します。

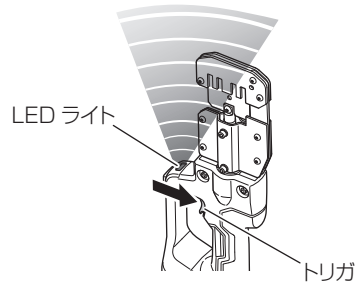
注 レンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、傷が付かないようにしてください。



LED ライトの警告シグナル

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いており、作業中に各保護機能が作動すると、トリガを引いている間とトリガをはなしてから約3秒間、LEDライトが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちにトリガから指をはなし、対処方法に従ってください。

[illegible]

1 充電当たりの作業量

作業量は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。

[蓄電池 BSL 1820M 使用時]

材 料	作 業 量	材 料	作 業 量
CW-25	約 250 カット	CW-19	約 320 カット
CS-25	約 300 カット	CS-19	約 380 カット

本製品の特長について

本製品では電子制御を行っており、下記のような特性があります。

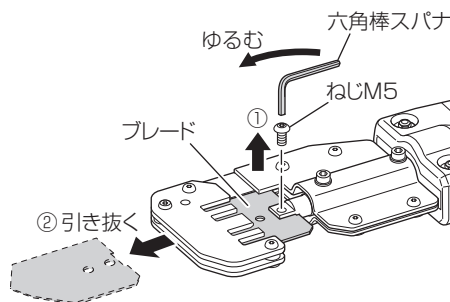
特 性	内 容
ソフトスタート	起動時のモーター回転数を抑えることで、作業者への反動を低減します。
過負荷保護	作業中一定以上の負荷が加わった場合、機体保護と安全のためモーターを停止させます。 一度スイッチを切り、再度スイッチを入れると起動します。
温度保護	機体の温度が一定以上になると、制御部の保護のため停止します。 機体の温度が下がれば、再び使用できます。

🔧 ブレードの交換

切れ味が悪くなってくると切断面が荒れ、機体にも負担がかかります。その際は新しいブレードと交換してください。

取りはずし

ねじ M5 を付属の六角棒スパナで取りはずし、ブレードを持って矢印の方向に引き抜きます。

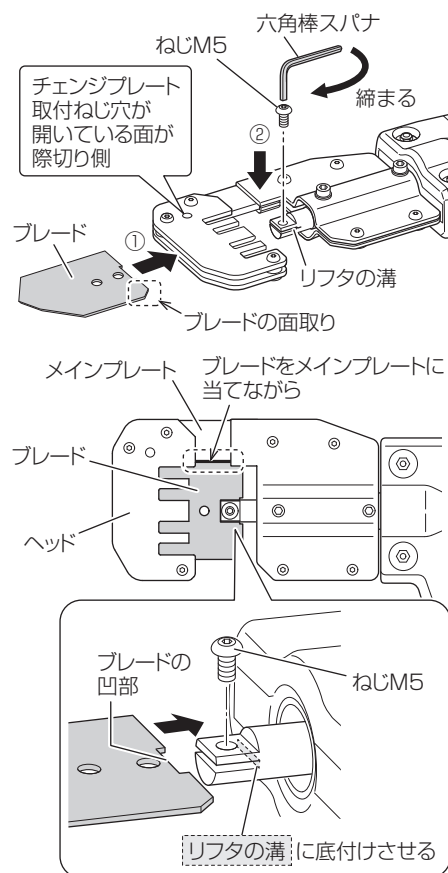


取 付 け

1 ブレードを、メインプレートに当てながらさし込み、リフタの溝に底付けします。

2 ブレードの面取りが図の位置になるようにします。

3 リフタの穴とブレードの穴を合わせ、ねじ M5 を付属の六角棒スパナで締付けます。



🔧 チェンジプレートの取付け【CS-25, CW-25】

CS-25, CW-25 を切断する際は、付属のチェンジプレートを取付けてから使用してください。

注 作業前に、低頭ねじ M5 がしっかりと締付けてあることを確認してください。

⚠️ 注意

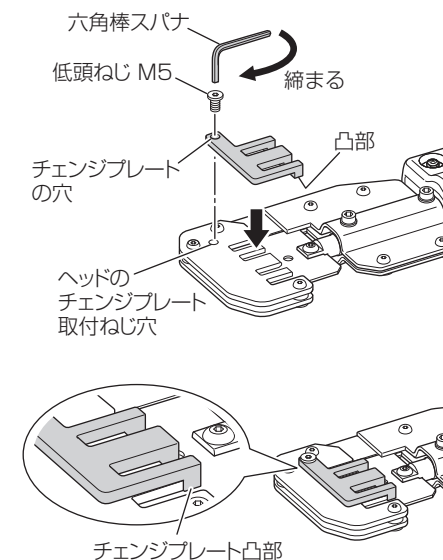
切断前に、チェンジプレートの要否を確認してください。

下記の誤った使用をすると、際切り側の切断面にバリ・変形が発生し、機体が故障する原因になります。

- チェンジプレートを使用した 19 形の切断
- チェンジプレートを使用しない 25 形の切断

1 ヘッドのチェンジプレート取付ねじ穴と、チェンジプレートの穴を合わせます。

2 チェンジプレート凸部をヘッドに突き当てた状態で、低頭ねじ M5 を付属の六角棒スパナで締付けます。



切断する

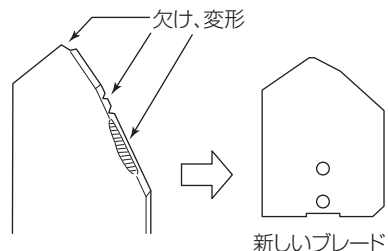
●天井下地材 (シングル野縁:CS-19/25,
ダブル野縁: CW-19/25) の切断

警告

- 運転中は、ブレードに手を近づけないでください。
- 適用材料 (CS-19, CW-19, CS-25, CW-25) 以外の切断をしないでください。

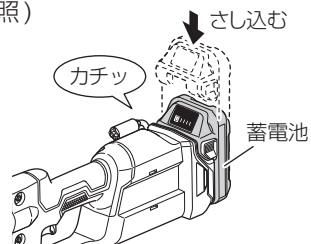
1 ブレードを確認する

- 欠けや変形・摩耗がないか確認してください。
- 欠けや変形・摩耗がある場合は、新しいブレードに交換してください。(P.17「ブレードの交換」参照)



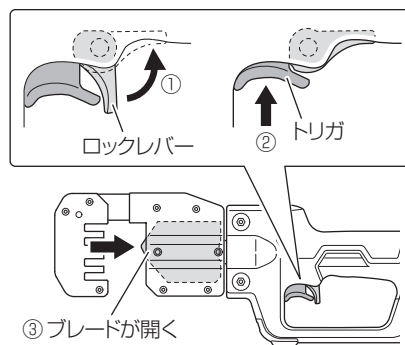
2 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。
(P.12「蓄電池の取付け・取りはずし」参照)



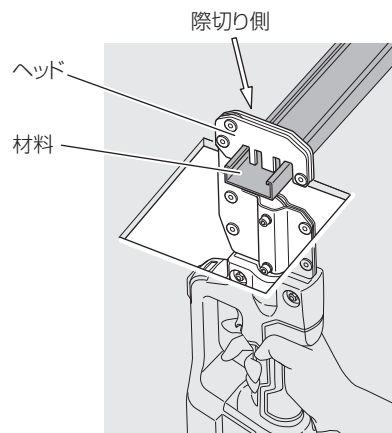
3 スイッチを入れてブレードを開く

①の方向に引いてから、②の方向に引きます。
(P.13「スイッチの操作」参照)



4 材料にヘッドをはめる

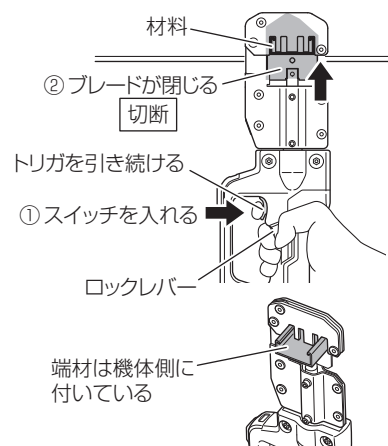
切断したい箇所では材料の形状に合わせ、ヘッドの凹凸部をはめる。



注 切り落とし側が長尺の場合は、材料を支持してください。

5 スイッチを入れてブレードを閉じ、材料を切断する

ブレードが自動で停止するまで、トリガを引き続けます。途中でトリガをはなすと、ブレードが開きます。



端材はブレードが閉じた状態の場合、機体側に付いていきます。

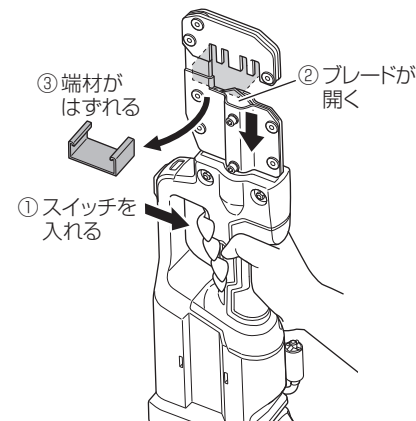
注 材料の長さにより、材料の自重で機体からはずれる可能性があります。

切断時

トリガを引き続けることで、ブレードが閉じます。
ブレードが閉じている最中にトリガをはなすと、ブレードが自動で開き、初期位置まで戻ります。

6 再びスイッチを入れてブレードを開く

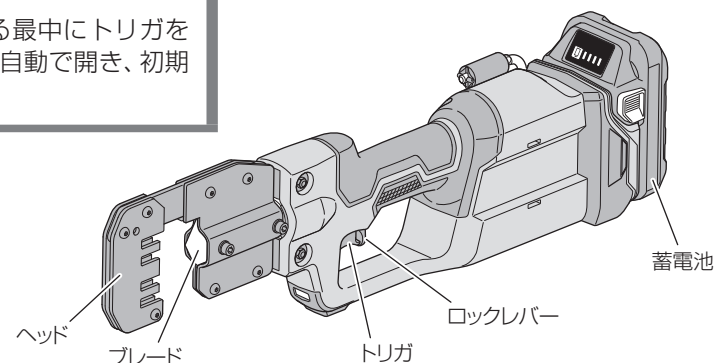
端材が機体から取りはずせます。



切断後

一度トリガを引くと自動でブレードが開き、初期位置まで戻ります。

注 ブレードが開いている最中は、トリガをはなしても停止しません。



保守・点検

● ブレードの点検とお手入れ

ブレードに欠けや変形・摩耗が生じたまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また能率も落ちるため、ブレードはいつも切れ味の良い状態で使用してください。欠けや変形・摩耗がある場合は、新しいブレードに交換してください。

● スイッチの点検

- 何も切断しない状態で、P.13「スイッチの操作」の作動を定期的を確認してください。
- ロックレバーを倒さずにトリガを引いた際、機体が作動しないことを確認してください。機体が作動した場合は、使用せずにお買い求めの販売店に相談してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的にモーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 機体や付属品の保管

ブレードに防錆油を塗布し、ブレードを開いた状態で保管してください。また、下記のような場所は避け、温度が 50℃ 未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

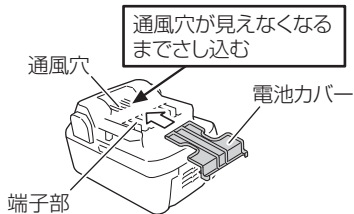


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3 か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状 況	原 因	対 策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口に異物が混入しているときは、取り除いてください。蓄電池の端子部に汚れや水等が付着しているときは、綿棒などで汚れをふき取ってください。蓄電池は「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷を与えた原因を解消してください。
	蓄電池または工具本体が過熱状態になった	蓄電池および工具本体を十分冷ましてください。
際切り側の切断面がだれる	ブレードの取付け不良、または変形・破損	ブレードの取付けに不備がある可能性があります。「ブレードの交換」の手順に従って取付け直してください。また、ブレードの変形・破損でも同様の現象が発生します。その際は新品のブレードに交換してください。
機体は起動するがブレードが動かない	安全機能が働いている	ブレード制御部に異常が生じ、安全機能が働いています。お買い上げの販売店に相談してください。
切断中に異常作動の警告が点滅した		機体内部に異常の可能性があります。お買い上げの販売店に相談してください。
トリガを引いてもブレードが元の位置に戻らない		
切断中に突然ブレードが開いた	電池残量がなくなった	蓄電池を充電する、または残量が残っている蓄電池と交換してください。

メ モ

メ モ